

Funehiki High School News vol.118

◆デュアル実習 今年もお世話になります

4月20日、本校会議室で、本校と田村市、地元事業所の連携人材育成事業「デュアル実習」の調印式が行われました。式では、田村市の本田仁一市長と、実習企業・施設代表として認定こども園わかさの牧公介園長から激励の言葉をいただいた後、実習生を代表して3年3組の佐藤史隆さんが「昨年度一年間の経験を踏まえ、自身のますますの成長と一層の地域貢献を目指して、精一杯学びたい」とあいさつしました(写真)。式の最後には、(有)慶慶飯店の片吉慶吉代表取締役と生徒の保護者代表、本校校長によってデュアル協定書が調印されました。



今年度のデュアル実習生は、2年生19人、3年生14人の計33人です。2年生は毎週火曜日、3年生は毎週木曜日に各企業・施設でお世話になります。ご協力いただく企業・施設の皆様、よろしく申し上げます。また、地域の方々も、実習生の働く姿を見かけましたら、社会人の一人として、温かく励ましていただければ幸いです。

◆生徒総会・家庭クラブ総会



5月1日、本校体育館で生徒総会・家庭クラブ総会が行われました。生徒総会では、生徒会活動・部活動の昨年度決算報告や、今年度年間活動計画について審議が行われ、無事に承認されました。また、生徒会が主体となっているエコキャップ運動(ペットボトルのふたを集めてリサイクルする活動)への協力を呼びかけました。家庭クラブ総会では、家庭クラブの昨年度活動報告や役員紹介などが行われました。また、今年度事業計画として、企業と共同でお菓子作りと販売を行うことが報告されました。

◆船高生の活躍 応援してください

5月1日、本校体育館で、インターハイ地区予選に出場する部活動の選手壮行会が行われ、大会に参加する生徒がユニフォームでステージ上に勢ぞろいしました。各部とも大会に向けた目標や決意を述べると、フロアから盛大な拍手が送られました。最後に全員で歌った校歌の力強さに、活躍への期待感が膨らみました。田村市の皆様、ぜひ応援をお願いします。



★おからを使ったスイーツは いかがですか？

家庭クラブ会長の吉田沙織です。昨年、大畑屋食品様と一緒に「おからを使ったスイーツ」作りをしました。8月5日、環境創造センター「コミュニティ福島」で開催される「環境教育フェスティバル」で、2種類のおいしいスイーツを販売します。多くの方々のご来場をお待ちしています！ よろしく申し上げます。



故郷は胃袋のあるところ

Colin Dunn

コリン・ダンさん
(アメリカ合衆国
ニューハンプシャー州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	48

食べ物は生活に必要な不可欠である。だから、おいしくしよう。——ジョージア州アトランタ市で人気のあるチキンレストランの創業者、トゥルエット・キャシーの言葉です。

食べ物は、文化で最も大切な部分を占めます。僕たちが最初に気がつく文化の1つです。例えばイタリアと聞けばローマを思い浮かべるでしょうが、同時にパスタやピザも浮かぶのではないのでしょうか。インドなら、タージマハルと同時に、スパイスの効いたおいしいカレーが頭に浮かぶでしょう。

食べ物が与えてくれる一番良いことは、僕たちと現地の人々を結び付けてくれることです。

田村市の英語教師として、市の方々と何度も食事を共にしてきました。生徒との昼食、友人との夕食、学校の先生との懇親会、時には他の英語教師との朝食…。

おいしい食事ほど人々をひきつけるものはありません。人にはそれぞれ味の好みがあります。異なる食器類を用いていることもあるでしょう。でも、集まったみんなが、味わいを分かち合うことができます。言葉の壁があっても、簡単な単語で食べ物への期待と喜びを互いに表現すれば、異文化の人々を楽しむ体験と思い出に導いてくれるでしょう。



僕は日本に来た時、「蕎麦」がどんなものか知りませんでした。何度か「寿司」を食べたことはありましたが、それは韓国にしばらく住んでいたからです。韓国では「ラーメン」は、お店で買ってきた袋から取り出して食べるのが普通でした。日本に来てからは、アメリカ人には人気のない「納豆」から、とてもおいしい「しゃぶしゃぶ」、生まれて初体験の「たこ」と「こんにゃく」の味まで、たくさんの日本食を食べました。今後、日本食を食べても楽しむことのできない場合もないとは言えません。でも、たいていの日本食をとってもおいしいと言える僕は幸せです。

日本食の料理は、僕がこれまでに慣れ親しんできたものとはずいぶん違っています。アメリカでは、冷たい蕎麦を食べたことがありませんでした。日本に来るまで「味噌」を食べたこともありませんでした。しかし今は、冷たい蕎麦は僕の大好きな食べ物1つです。味噌汁はご飯によく合う名脇役で、いつも食事をいっそうおいしくしてくれます。

もしも外国で長い時間を過ごす機会があれば、その国の食べ物がいかにおいしくか気がつくとともに、母国の食べ物を食べたくもなるでしょう。慣れない環境では、食べ物は慰めの源となります。アメリカに住んだことのあるアジア系の友人は、アメリカで常にお米を食べることができないことをつらく思っていたそうです。タイの友人は、「お米がなければ食事をした気にならない」とさえ言いました。

僕はその逆でした。お米はおいしいですが、むしろアメリカのサンドイッチやメキシコ料理(アメリカでは非常に一般的)を食べたくります。ところが今は、すっかり舌になじんだ日本食、例えばおいしい牛丼やメンチカツを食べていると、不思議なことに、日本にいても、故郷が、幸せが感じられるのです。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...http://www.funehiki-h.fks.ed.jp mail...funehiki-h@fcs.ed.jp